

肝血管肉腫切除例に関する症例報告

研究の概要：

肝血管肉腫は原発性肝腫瘍の0.1-2%と非常に稀な腫瘍であるとともに、悪性度が高く、極めて予後不良な疾患として報告されています。治療としては外科的切除が第一とされますが、切除が可能な例は20%程度と低いとされています。また外科的切除が困難な例に対する治療や、術後に行う補助療法も確立されていないのが現状です。治療の確立のためにも症例の集積が望まれており、当院で肝血管肉腫の患者さんに対して行った診療の内容に関する症例報告を行うことを計画しました。

研究の目的と意義：

本研究の目的は、当院で肝血管肉腫の患者さんに対して行った診療の内容に関する症例報告を行うこととしています。非常に稀な疾患である肝血管肉腫に関しての症例報告(論文発表)を行うは今後の肝血管肉腫に対する診療の一助となる可能性があると考えています。

研究対象：

国立がん研究センター東病院において肝血管肉腫に対して手術を行った患者さんを対象とします。

研究の方法および内容：

本研究では肝血管肉腫の患者さんに対する診療情報を収集し、症例報告を行います。研究のために余剰な検体の採取やさらなる侵襲が加わることはありません。

個人情報保護に関する配慮：

カルテ番号等の個人情報は診療情報収集時にのみ使用します。これらの情報は個人を特定できないように匿名化し管理されます。患者さんの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。本研究に関してご質問やご意見がございましたら、次の連絡先までお申し出ください。

照会先および研究に関する質問、意見等がある場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 北口和彦・後藤田直人

FAX 04-7131-9960 / TEL 04-7133-1111

E-mail : kkitaguc@east.ncc.go.jp もしくは ngotohda@east.ncc.go.jp